



# ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.3.11  
No. 065

## 東北新幹線 東京駅にてスロープ板を設置したまま起動開始！

現場社員が一体となって安全で安心な東京駅新幹線ホームを実現させよう！！ NO.2

### 当日の状況

- ・折り返しとなる列車は秋田県内雪の影響で6分延で東京駅に到着、そのため車内清掃・整備が終了し乗車開始したのは発車1分半前であった（通常は5分前後乗車時間がある）
- ・当該列車は普段より利用客が多く、乗車時間が短くなったため速やかな乗車を促していた
- ・発車ベルは短い扱いだった。（普段 35 秒程度で当日は 15 秒程度）

### 各職場からの声

#### ホーム担当

- ◆ 休日（2月5日）午前10時台、乗車と降車が連続しており、立ち番業務に集中できない。
- ◆ 目の前の号車（5～7号車）に固定して案内してもらいたい。
- ◆ こういった事象が発生した時は、しっかりと全員を集めて議論する場を緊急にでも作るべきだ。
- ◆ 首都圏本部は「今回のスロープ板がきれいにドアレールに挟まってしまうことは想定外であった」と受ける。東北の方は挟まってもドアに干渉して閉まらないようなスロープ板であるとのこと。

- ◆ 職場内では、あまり話になっていない。
- ◆ 実際にこのような事象に当たったときに、スロープ板が外れていて係員が立っていたら、非常ブレーキ引きスイッチが引けるかと話題になった。
- ◆ これまで非常ブレーキが引きスイッチを実車で扱う機会がなく、訓練でも少ない。
- ◆ 車いすの乗降車については車掌には連絡来ない。
- ◆ 発車前、列番設定、放送をするので、当日は発車直前まで顔を出せないのではないかな。
- ◆ 事象を知って指令に連絡するまで、少し時間がかかっていると感じる。停めなかった葛藤があったのではないかな？

#### 車掌

- ◆ 正式なルールは、メモを事務所内にいるホーム社員に渡して手続き終了。（※今回の事象は立ち番社員が事務所内社員から引継がれていたのを一時的に失念）
- ◆ ホーム事務所の社員の対応が人によって違う。エルダーには優しいがプロパーには冷たい。せっかくJR本体社員が激励でSCSPに差し入れしてくれたりとか関係改善してもらっているのに。
- ◆ 4分ヘッドだから、立ち番の人は放送など大変そうで、気を遣う。
- ◆ 今は2名で対応しろとなっている。終了次第立番に伝える。12号車くらいから6号車付近の立番まで遠い。閑散期だから今はいいが、要員が52/53で今後は大変になる。
- ◆ 人に頼った作業にしていると同じことが起きる。作業面、ハード面考えないといけない。
- ◆ 立ち番の位置づけ、昔は当務駅長、現在はどうなのか？マニュアル通りできるのか。
- ◆ 泊明けに日勤をしている。24h+9h

#### 車いす担当